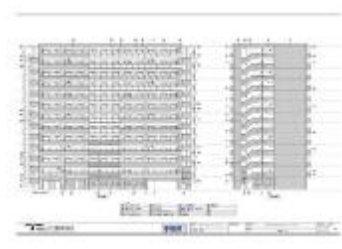


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市江の木町マンション計	階数	地上13F 地下0階
建設地	大阪府吹田市江の木町10-2,10-17	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	249 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年7月 予定	評価の実施日	2015年5月18日
敷地面積	2,710 m ²	作成者	株式会社AR設計 下川誠之
建築面積	698 m ²	確認日	2015年5月20日
延床面積	8,261 m ²	確認者	スナダ建設株式会社 砂田直成



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 94% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 94%

④上記+ 94%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.0)

音環境	3.4
温熱環境	2.8
光・視環境	2.1
空気質環境	4.0

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.7)

機能性	2.4
耐用性	3.0
対応性	2.7

Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.8)

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 2.6)

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	2.5
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.6)

水資源	2.2
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.3)

地球温暖化	3.2
地域環境	3.4
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合	良好な緑地を確保し、豊かな住空間を創造する。	0
Q1 室内環境	汚染物質を発生させないよう、F☆☆☆☆の建材を全面的に使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺やまちなみの景観に対して配慮が行われている。
LR1 エネルギー	ヒートポンプエアコン・LED照明器具を採用。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用しておらず、大気汚染物質を発生しない。
Q2 サービス性能	給排水配管に長寿命管材を使用している。	
LR2 資源・マテリアル	特になし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0046

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市江の木町マンション計画					
	建設地	大阪府吹田市江の木町10-2,10-17の一部,10-22,10-26,10-28,10-29,10-30,10-32					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
	CO2削減					3	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	
【評価項目】							
省エネルギー対策	① CO2削減						
	② 省エネ対策						
	項目	評価内容			スコア	評価	
	① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.2	3	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	1.0	3		
			住戸・宿泊	3.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.5	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				2.2	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策						
	項目	評価内容			スコア	評価	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			3.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0		
その他							
		技術の名称	考慮事項				
	先進的技術の導入						
	特に配慮した事項						